

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	過去 10 年間の小児における侵襲性 <i>Streptococcus anginosus</i> group 感染症：多国間後方視的研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	当院で 2013 年から 2022 年の間に入院治療を受け、培養検査で <i>Streptococcus anginosus</i> group が検出された 19 歳未満の小児患者さんが対象です。他の国としては、韓国、台湾、タイ、シンガポールの子どもでも同様の調査をします。
③概要	診療録を振り返り、子どもでは稀な <i>Streptococcus anginosus</i> group による侵襲性感染症の特徴を調査します。本研究への参加をご希望されない場合でも、そのために不利益が生じるということは一切ありません。
④申請番号	2023-0060
⑤研究の目的・意義	過去 10 年間の小児における侵襲性 <i>Streptococcus anginosus</i> group 感染症の特徴を明らかにすることが目的です。大人では近年増えていると言われていますが、子どもにおける実態を明らかにすることでその対策について検討することが可能になります。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2025 年 5 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	年齢、性別、症状、検査結果、菌の薬剤感受性試験結果、入院期間、治療内容、予後について、診療録を振り返って調査します。個人が特定できないようにした上で、その一覧をパスワードロックしたエクセルファイルにまとめて、韓国の研究代表者に電子メールで送付します。
⑧利用または提供する情報の項目	診療記録と検査結果
⑨利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。 新潟大学 小児科 齋藤 昭彦
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 小児科 齋藤 昭彦 共同研究機関：Samsung Medical Center, Sungkyunkwan University School of Medicine 小児科 Yae-Jean Kim
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：小児科 氏名：相澤 悠太 Tel：025-227-2222 E-mail：shounika@med.niigata-u.ac.jp